

海上保安庁・秋田市消防本部との官民合同救助訓練を実施
～秋田港洋上風力発電所における緊急時対応力と関係機関の連携強化～

2026/10/21

丸紅洋上風力開発株式会社

丸紅洋上風力開発株式会社（以下、「当社」）は、2026年10月6日（火）、秋田港洋上風力発電所および周辺海域において、海上保安庁 第二管区海上保安本部 仙台航空基地・秋田海上保安部、秋田市消防本部、秋田洋上風力発電株式会社と官民合同救助訓練を実施しました。

今回の訓練では、アクセス船（CTV：Crew Transfer Vessel）を使用した人員・資機材の移送、風車の基礎部分であるトランジションピース内での消防による救助活動、海上保安庁の機動救難士による海面からのアプローチ、要救助者の担架搬送など、一連の救助活動の有効性を確認しました。あわせて、海上保安庁によるヘリコプターを用いた吊上げ救助訓練も実施しました。

当社は、秋田港・能代港の洋上風力発電所の運転管理に携わる企業として、緊急時における関係機関との円滑な連携が重要であると考えています。今後も安全を最優先に考え、消防、海上保安庁をはじめとする関係機関との実践的な訓練を継続し、洋上における緊急時対応の体制確認と連携強化に取り組んでまいります。

